



一 問

教職員通信教育の計画概要およびその開設時期を承りたい。

天野 18/10

答

現職教員の資質向上を以て、六・三制の實質的完成のため急務であり、その現職教育の一環としてこの通信教育は学芸大学、大学の教育学部より、学芸学部で、また、教職科目につき、実施するものであります。既に教科書の選定も終り、現在研究手引の編纂中であり、すなわち八月下旬には開講出来る予定であります。

5-3  
18

二 問

教育奨学制度を拡充する必要なきや

答

義務教育である小学校および中学校の教育の重要性にかんがみ、その教育を担当する教師に優良な人材を招致する一助として教育奨学制度を設けたのであります。本年年度の教員養成の大学、学部の入学状況を見ますと、中学校教員養成課程においては、満足すべき状態にありますが、小学校教員養成課程においては、入学者が僅かに募集員数の六五％に過ぎない状況であり、まして小学校教育上憂慮せられますので、関係各庁と協議の上、これが対策につき、目下研究中であります。

三 問 教員養成機関の現状如何

答 教員養成の大学、学部は旧制の師範学校、青年師範学校を母体として設置した関係もあり、その施設内容は極めて貧弱であり、その中で優良な教員を養成し、六・三制の實質的完成のためにはその整備拡充を図る必要があり、また下目下これが対策に関し、研究中であります。

四 問 教員養成大学、学部の入学生状況如何

答 本年度の教員養成大学、学部の入学生状況は昨年度に比し、好転して来ましたが、事実であり、とり、即ち中学校教員養成課程においては志願者が募集員数の二倍に達し、まだ充分とはいえないまでもや、満足せられる状況であります。然るに小学校教員養成課程において、幾分好転はしましたが、僅かに六五%の入学者を見ただけで、過大な状況であり、小学校教育上憂慮せられ、また今後小学校教員に優良な者を招致するためには対策につき、目下研究中であります。

五問 附屬学校教員の待遇改善対策如何

答 現在教員養成大学附屬学校教員の給与は一般公立中、小学校の教員に比して、はるかに低いことは事実であります。然るにその勤務内容は一般公立学校教員に服する勤務の外更に大学学生の教育実習の指導その他特殊な勤務を有するもので、その待遇の改善につき、関係各庁と協議の上目下その対策を考究中であります。

六問 現職教育の実施状況如何

答 國の計画といた（よ）しては  
（一）夏期講座

本年度は六十の国立大学に現職教育講座を開設し、四万八千六百名の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、ろう学校、盲学校教員を対象として夏期四週間に一人が四単位を取得することが出来るよう計画し、一部は既に実施中（あり）ます。

（二）通信教育

夏期講座と併行してへきすうの地に勤務する教員或は勤務地を離れて受講することの極めて困難な教員のためには免許法認定通信教育において本年

度に十万一千五百名が一名平均四単位を取得出来る  
よう計画し目下開講準備中でありませ

次に認定講習に二、三としては  
都道府縣におきましては本年度中に延二九万七千二百二十  
名の受講者が一人平均十三大八単位を取得することが出来る  
よう既に実施中でありませ

七、問 免許法認定講習に対する方針如何

答 各都道府縣で実施しております免許法認定講習  
について開設費並びに旅費の一部を補助するため目  
下補正予算を考慮しております。  
二十六年度におきましては各大学に開設する現職教  
育講座において五万名、免許法認定通信教育に  
おいて十五万名、都道府縣において二十万名が一人  
平均八単位を取得することが出来るよう計画し、  
現職教育講座と免許法認定通信教育については  
國費をもつてまかない、都道府縣の分についての開設  
費と、全受講者の旅費については補助金をもつて  
まかなうよう来年度の予算を準備中であり  
ませ

八問

近い将来に教育職員免許法を改正する意志  
ありや。

答 改正すゝの意志はありません。

九問

教育職員免許法にはむじゆんがあると思ふが  
如何

答 只今研究しております。もしむじゆんがあ  
れば改正いたします。

